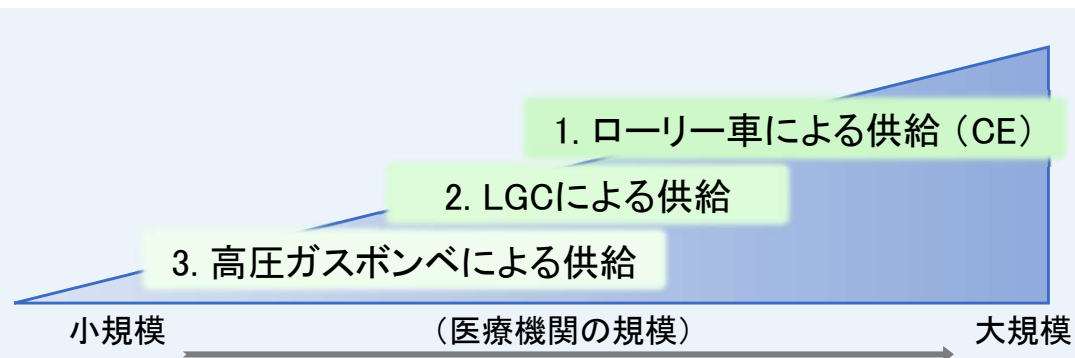


医療ガスについて

病院等の医療機関への供給方法は、
医療機関の規模によって異なります。



1. ローリー車による供給 (CE)



CEへ供給中のローリー車

大規模な医療機関の場合は、医療機関の構内にCE(コールドエバポレーター)と呼ばれる
定置式超低温液化ガス貯槽(内容量5~10tが一般的)を設置し、これにタンクローリー車から
直接液体酸素・液体窒素を移し替えて使用する方法をとります。

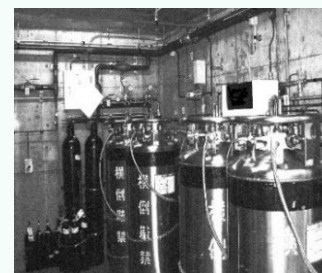
医療ガスについて

2. LGCによる供給



中規模の医療機関の場合は、LGCと呼ばれる可搬式超低温液化ガス容器を医療機関の屋内に設置し、これから院内にガスを供給する方法をとります。

LGC: 可搬式超低温液化ガス容器



LGC供給設備例



LGCの配送

3. 高圧ガスボンベによる供給



小規模の医療機関の場合は、高圧ガスボンベを複数集合したマニフールドを設置して、院内にガスを供給します。



ボンベ供給設備例



ボンベの配送

医療ガスについて

医療用ガスの流通

